

ご支援のお願い

難病とたたかう子どもと家族のための医療ケア付自然体験施設「そらぷちキッズキャンプ」の活動は、多くの皆様からの資金的支援（会費、寄付、物品）と人的支援（ボランティア）によって、支えられています。

ご支援をよろしくお願いいたします。

方法

1 寄付金をご提供いただく方法

いつでもいくらからでも受け付けております。お振込み口座は以下です。

金融機関名	店番	口座名	種目	口座記号・番号
ゆうちょ銀行	279	公益財団法人そらぷちキッズキャンプ	当座	02770 - 6 - 045696

※他銀行からゆうちょ銀行へ振り込む場合は、()内の2項目が必要となります。(店名:二七九(ニナナキユウ) 口座番号:0045696)
※その他口座については、下記までお問い合わせください。

クレジットカード決済によるご入金もできます。

HPより1口1,000円からご入金いただけます。決済システムは、CANPAN決済サービス(PAY.JPシステム)を利用してクレジットカードを使ったオンラインでの入金ができます。

<https://kessai.canpan.info/org/solaputi/>

方法

2 会員として継続的にご支援いただく方法

継続的にご支援いただける方は、年会費によるご支援をお願いします。

会員登録された方には、活動をお知らせするニュースレター等を郵送いたします。

応援会員(個人・団体)	一般 1口2千円	特別 1口1万円
賛助会員(企業・法人)	一般 1口20万円	特別 1口50万円

※会員期間は、入会日から入会年度の3/31まで。お振込みは上記口座。
※上記クレジットカード決済による入金もできます。自動継続も可能です。

方法

3 物品をご寄贈いただく方法

キャンプに必要となる物品を「ウイッシュリスト」として整理・随時更新しています。

詳しくは、下記キャンプ場までお問い合わせください。

方法

4 ボランティアとしてご支援いただく方法

感染症対策強化によりキャンプ場内の活動が変化したことに伴い、ボランティアをお願いする内容も大きく変更いたしました(暫定)。以下の内容に、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

○以下SNSへの登録・フォロー・いいね・閲覧が、ボランティアになります。
(キャンプ場の様子を発信するとともに、様々なお願いも随時掲載します)
※従来のボランティア登録制度は中止し、上記に移行しています。



facebook



youtube



Instagram

ほか

その他の方法として

店舗での募金箱の設置や、広報PR活動の支援(講演依頼他)など、いろいろな方法があり、認知度アップのための新たな模索もしていますので、下記までご連絡ください(ご相談・ご提案・調整等させていただきます)。



公益財団法人 そらぷちキッズキャンプ

〒079-0461
北海道滝川市江部乙町丸加高原4264-1
TEL: 0125-75-3200 FAX: 0125-75-3211
HP: <https://www.solaputi.jp> e-mail: info@solaputi.jp



そらぷちキッズキャンプ
solaputi kids' camp



きつつきの森・車いすのままで行けるツリーハウス

難病とたたかう子どものための
医療ケア付キャンプ場

in 北海道滝川市丸加高原

「そらぷちキッズキャンプ」とは

「外で遊びたい」——それが夢だと言う子どもたちがいます。

日本には、小児がんや心臓病など、難病とたたかう子どもたちが、約20万人いると言われています。そんな子どもたちは、辛く長い闘病生活の中で「外で遊ぶ」という機会がほとんどありません。

「外で遊びたい」——それが夢だと言う子どもたちがいるのです。

そして闘病中の子どもをサポートする家族にも「休息」や「リフレッシュ」が必要となっています。



小児病棟の病室

難病とたたかう子どもたちが自分の病気や治療のことを気にせず遊べるよう、特別に配慮された医療ケア付自然体験施設をつくりたい！



北海道滝川市丸加高原

そらぷちキッズキャンプは、難病とたたかう子どもたちや家族を受け入れることができる、医療ケア付キャンプ場を、北海道の大自然の中につくりました。

このような施設は、国内にはなく、すべて寄付やボランティアの力で運営しています。非日常体験であるキャンプに参加することが、闘病中の子どもや家族の「休息」になり、「明日を生きるエネルギー」になることを望んでいます。

キャンプ等実施イメージ（長期目標）



4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

- キャンパー事前事後フォロー（相談対応、クリスマスギフト他）
- きょうだい・親のサポート ● 子どもを亡くした家族のサポート
- 病院や闘病中の自宅へ「楽しみ」提供（スノーギフト、キャンプ用品ギフト他）
- 元キャンパー等へのボランティア・インターン機会の提供 ● キャンプ場一般公開イベント

実施するキャンプについて

対象者について

「難病などの病気や、重い障がいをもつ子どもと家族」を対象とし、病種などは限定せず、より医療ケア度の高い子ども、よりキャンプへのニーズが高い子どもを優先し、キャンプに招待する方針です。全国各地の小児科医の協力による、専門の医療支援体制をその都度整えた上で、各回のキャンプを開催します。

キャンプの種類

キッズキャンプ（子どものみ参加）

- 対象年齢：10～18歳（小学校高学年から高校生）
- 人数：20名程度・期間：3泊4日
- 特徴：親元から離れ、同じ病気の仲間と集団生活し、自信をつける。（見送る親は、リフレッシュ、きょうだいは、親との時間を持つ機会）
- 実施時期：7月、8月（夏休みの期間）
- サポートスタッフ、ボランティア40名程度



ファミリーキャンプ（家族単位参加）

- 人数：8家族24名程度・期間：3泊4日
- 特徴：家族での旅行、キャンプの機会。同じ病気の子どもの持つ家族が交流し、孤独感を和らげる。仲間意識をつくる。
- 実施時期：1月、2月（冬・雪のシーズン）
- サポートスタッフ、ボランティア20名程度



レスパイトキャンプ（個別家族参加）

- 人数：2家族10名程度（同行医療者含む）・期間：3泊4日程度
- 特徴：医療ケア度の高い子どもと家族が対象。日常の緊張感から解放された中で、家族が同じ時間・思い出をつくる。
- 実施時期：6月、9月（過ごしやすい気温の時期）
- サポートスタッフ、ボランティア20名程度



グループキャンプ（団体参加）

- 対象団体：難病の子どもの家族会、支援団体・期間：3泊4日程度
- 人数：8家族24名程度+同行者10名程度
- 特徴：家族会・団体内の交流
- 実施時期：5月、10月（夏季シーズン前後）
- サポートスタッフ、ボランティア20名程度



キャンプ参加者について

これまでの参加者 (参加者数、居住地、病種、感想など)

小児がん(白血病、脳腫瘍など)とたたかう子どもや、小児外科系疾患(二分脊椎症、短腸症候群など)をもつ子ども、その他、心疾患(心臓病)、神経・筋疾患などをもつ子どもたちが、キャンプに参加しています。

これまで2005～2020年度の16年間で、全国から1,148名の難病とたたかう子どもと、その家族を無料で招待することができました。

参加者の感想



子どもの感想

病気でも、キャンプに行けてみんなと遊べて楽しいこともあるんだ。

こんなに楽しいことがあったら、この先変わるんじゃないかなと思う。

家に帰っても、一週間くらいキャンプのことしゃべらなかつた。もったいない気がする。

再発して、再入院して、いやだったけど、またそらぶち行けるのかなあ。

一人じゃないんだ仲間がいるんだと初めて感じる事ができた。

親の感想

こんなに楽しい日が来るとは、数年前には想像もしていなかった。これまで家族みんなで頑張ってきた良かった。

病児、きょうだい、両親、一緒に楽しめたので、家族同士のいろいろな表情を発見できた。あらためて「家族一緒」が一番楽しいと感じた。

普段の生活に制限がある中で大自然で過ごしたキャンプは羽ばたいたような気持ちだった。

私たち家族にとってこのキャンプ地は、新しい生活のスタートになった。

空港にてサポート頂いた航空会社スタッフの方々と記念撮影

そらぶちキッズキャンプ

子どもの感想

病気でも、キャンプに行けてみんなと遊べて楽しいこともあるんだ。

こんなに楽しいことがあったら、この先変わるんじゃないかなと思う。

家に帰っても、一週間くらいキャンプのことしゃべらなかつた。もったいない気がする。

再発して、再入院して、いやだったけど、またそらぶち行けるのかなあ。

一人じゃないんだ仲間がいるんだと初めて感じる事ができた。

親の感想

こんなに楽しい日が来るとは、数年前には想像もしていなかった。これまで家族みんなで頑張ってきた良かった。

病児、きょうだい、両親、一緒に楽しめたので、家族同士のいろいろな表情を発見できた。あらためて「家族一緒」が一番楽しいと感じた。

普段の生活に制限がある中で大自然で過ごしたキャンプは羽ばたいたような気持ちだった。

私たち家族にとってこのキャンプ地は、新しい生活のスタートになった。

空港にてサポート頂いた航空会社スタッフの方々と記念撮影

キャンプ参加者の居住地

(2005年～2020年度)

全国からそらぶちキッズキャンプへの移動について

そらぶちキッズキャンプは北海道にあり、ほとんどの参加者が飛行機に搭乗し移動するため、航空会社各社にサポートいただいています。事前の綿密な情報交換により、参加者の状態にあわせた、空港での誘導、休憩場所の確保、飛行機の乗り降りなど、快適に飛行機や空港を利用することができるよう、様々なサポートをいただいています。



「そらぶちキッズキャンプ」の特徴

事前説明会・家庭訪問

キャンプの募集を開始してから参加に至る間の情報交換を大切にしています。子どもだけが参加するキッズキャンプでは必ず事前説明会を開催、家族単位で参加するキャンプでも、状況によって個別の家庭訪問を実施しています。情報交換はキャンプ場に常駐する看護師が行います。



キャンププログラム

子どもたちや家族の状態・ニーズにあわせて、様々なアクティビティを準備しています。北海道の大自然を活かした、自然とふれあう、仲間と楽しむ、自分にチャレンジする、様々なプログラムを提供します。専門資格をもつスタッフが準備・実施する乗馬・馬車搭乗、森あそび(ツリーハウス)などのプログラムがあります。



ボランティア

キャンプには、事前に研修を受けたボランティアが参加しています。大学生や主婦、キャンプの専門家、栄養士、医師や看護師など様々な人たちが、子どもたちの「力になりたい」と集まっています。ボランティアとの交流もキャンプの魅力の一つです。キャンパーからボランティアになった若者もいます。

食事

北海道の旬の食材を使った、子どもたちが選べる食事、子どもたちと一緒に作る食事など、「食事」はキャンプの楽しみのひとつになっています。専門のスタッフが常駐し、食物アレルギーや食事制限、ニーズに合う食事形態(きざみ、ペースト)などにも対応した食事メニューを提供することができます。



医療支援

キャンプ中は、専門の医師、看護師が常駐し、キャンプでも日常の医療ケアが継続できるようにサポートします。「ほけんしつ」と呼んでいる専用の建物もあり、集団から離れての休息や、特別な処置が必要になった場合にも使います。また滝川市立病院、砂川市立病院と連携し、緊急時対応ができる体制を整えています。



施設・設備

キャンプ場内の施設・設備は、訪れる子どもたちのことを考え、バリアフリー・ユニバーサルデザインの視点で、設計・整備されています。今後も、子どもたちの意見を聞いて改善し、使いやすい施設にしていきたいと考えています。森の中には、車いすのままで行けるツリーハウス(木の上の家)もあります。



キャンプサイト・施設の紹介



そらぶちキッズキャンプは、大空と豊かな自然に囲まれた北海道滝川市丸加高原にあります。丸加高原は標高286メートルの丸加山のすそ野に広がる丘陵地で、キャンプ場は約16ヘクタールの草地と森です。宿泊棟、食堂・浴室棟等の施設群があり、敷地の2/3を占める森には、ツリーハウスや散策路など自然を満喫できるよう整備されています。



施設の建設にあたり、法人・個人・団体からご支援をいただきました。

2009年に「事務棟（森の案内所）」が建設され、2010年には「森のほけんしつ（医療棟）」、2012年には「食堂&浴室棟」と「宿泊棟」など主要施設群が完成しました。森エリアには市民ボランティアや民間企業などの協力によりツリーハウスや木道などが整備され、今後もバリアフリー木道や遊びの仕掛けなどをつくる予定です。

summer



うまの家・うまの広場



わくわく原っぱ



きつつきの森

winter



ほたるの森

広場周辺



2 食堂&浴室棟 (森の食堂・そらとりのお風呂) 650㎡

食堂ホール、厨房、大浴場

【食 堂】100人が集える食堂ホールです。食事時間以外は、室内遊び場としても利用します。
【大浴場】森と空をテーマにした2つの浴場があります。キャンプの仲間と一緒に入ることができます。



協力：民間寄付金等

3 森のほけんしつ 180㎡

診察・処置スペース 静養室(ベッドルーム)

医療者が常駐し、キャンプ中は医療ケアや服薬の際に使います。体調が悪くなったら、診察・静養することもできます。



協力：故・横山清七初代会長親族、北門信用金庫、日本チェーンドラッグストア協会、滝川市医師会 ほか

1 宿泊棟 (星のコテージ・月のコテージ) 寝室(2段ベッド)、リビング、浴室 240㎡×2棟

36人が泊まれるコテージです。寝室には木の2段ベッドがあり、1段目は車いすユーザーが使いやすい高さに設定されています。中央にある和室(畳の小上がり)で寝転んだり、リビングでゲームをしながら遊ぶことができます。



協力：公益財団法人日本財団(宿泊棟1)、一般財団法人日本メイスン財団(宿泊棟2)

4 ツリーハウス 木の上にある家 10人程度収容可能

クリエイターの小林宗さんと協働で製作した、4本の大きな木に支えられたツリーハウスです。車いすのままでも利用でき、森とひとつになった感覚になります。



協力：一般財団法人東京マラソン財団、公益財団法人太陽財団 ほか

コロナ禍における事業報告 及び 新たな (with コロナ) 中期事業計画

コロナ禍における対応が求められた2020年度においては、活動の基本方針と新・中期事業計画を定め、感染症対策を徹底の上、以下の活動を試行しました。キャンプ事業としては、同居する1家族を対象とし、宿泊、日帰りあわせて計15回のキャンプを開催しました。

基本方針

- ・国際的な議論によりバージョンアップした医療ケア付キャンプ場の感染症対策を遵守し、活動を行う。
- ・宿泊・食事を伴うキャンプなど制限・縮小していた既存の活動を、徐々に元へ戻し、さらに発展させる。
- ・コロナ禍の状況において、検討・試行した新規の活動について、本格的に活動を開始する。

活動①(継続) 難病とたたかう子どもとその家族を、全国各地から招待してキャンプを実施する。

：感染症対策を徹底しながら、年間実施回数、各キャンプの参加人数を徐々に元に戻し、そして増やしていく。

「実施をするキャンプの種類」

- 主治医が同行するレスパイトキャンプ(3泊4日)
- セラピー馬アクティビティ中心の日帰りデイキャンプ(ファミリーキャンプ)



家族で見晴らしの丘へ登山



車いすユーザーのセラピー乗馬



車いすユーザーのチェアスキー

活動②(継続) キャンプが安全に運営できるようソフト・ハード面でサポート体制を充実させる。

「ソフト面での対応/人的サポート」

- 感染症対策を徹底し、企業・団体のボランティア活動の受け入れを開始する。

「ハード面での対応/施設・設備のサポート」

- 既存施設の修繕・改修や、森の維持管理を行うとともに、開放的な半屋外施設(クラフト棟や球技場)他、キャンププログラムを更に充実させるための施設整備等を行う。



吊り橋付ツリーハウスの定期改修



団体ボランティアによる維持管理作業

活動③(新規) リネン洗濯等を、福祉就労団体へ積極的に業務委託する。

- リネン洗濯や施設清掃等の作業を、福祉就労団体へ積極的に業務委託することで、地元に住む福祉対象者の仕事を生み出すことにつなげる。

活動④(新規) 難病の子どもたちが過ごす、全国各地の病院(病室)や自宅に「楽しみ」を届ける。

「スノーギフトを贈る」

- 雪の積もらない地域にある病院等へ、キャンプ場に積もった雪を専用のスノーボックスに詰め、冷凍空輸で贈る。

「VR映像の上映会を開催する」 ※VR(Virtual Reality)とは疑似体験できる映像技術のこと

- 全国の小児病院等において、キャンプ場で撮影した夏・冬の自然体験VR映像の上映会を実施する。

「キャンプ用品を贈る」

- 全国各地の難病の子どもたちに、キャンプ用品をプレゼントし、闘病生活において安全にキャンプの雰囲気を楽しんでもらう。



小児病院内で雪だるま作り



制作した馬車操縦のVR映像



自宅近くの公園でキャンプ

活動⑤(継続) 難病の子どもと家族の現状や、キャンプでの支援の必要性を、広く社会に発信する。

「広報PR イベントの実施」

- キャンプ場一般公開イベント(5月、10月)、大都市部(東京、大阪、札幌他)での写真展を開催する。

「インターネットによる広報活動」

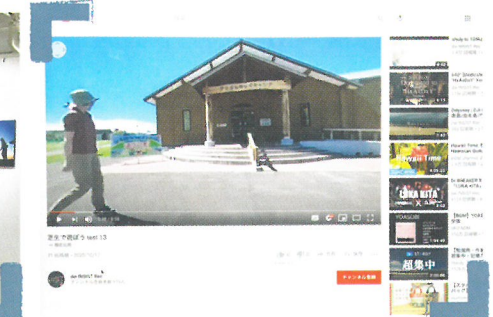
- ホームページ、Facebook、YouTube、Instagram他での情報発信を強化するとともに、バーチャルとリアルを効果的に融合させ、VR映像での施設案内や、チャリティオークション等を実施する。



一般公開でのキャンプ場内見学



キャンプの様子を伝える写真展



YouTubeでのVR施設案内

活動⑥(新規) 元キャンパーや難病児支援に関心のある大学生に就労機会(インターン)を提供する。

- 免疫が低いことなどで、行動に制限がある元キャンパーに対し、積極的にキャンプ場でインターンとして受け入れ、就労体験の機会を提供する。

また、難病児支援の分野を人材の面でも発展させるため、この分野に関心のある大学生を積極的にキャンプ場でインターンとして雇用する。



2021年度より元キャンパーが就労チャレンジ

2020年度 寄付者/会員状況 及び 会計報告

寄付支援いただいた企業・団体

👑 SeriousFun Children's Network (アメリカ)	👑 北門信用金庫 (滝川市)
👑 一般社団法人 日本チェーンドラッグストア協会 (港区)	👑 Rite Aid (ライト・エイド) (アメリカ)
👑 The Boeing Company (アメリカ)	👑 株式会社 ワイズコーポレーション (京都府)★
👑 大原小児がん基金 (滋賀県)	👑 アレクシオン・ファーマシューティカズ (アメリカ)
👑 Abercrombie & Fitch (アバクロ) (アメリカ)	👑 株式会社 マツモトキヨシホールディングス (千葉県)
👑 Newman's Own (ニューマンズOWN) (アメリカ)	👑 一般社団法人 TU commons 夢のアトリエ (渋谷区)
👑 武田薬品工業 株式会社 (中央区)	👑 株式会社 サンドラッグ (府中市)
👑 株式会社 クスリのマルエ (群馬県)	👑 ユニバーサル・ビジネス・ソリューションズ 株式会社 (中央区)
👑 コールマンジャパン 株式会社 (港区)★	👑 株式会社 日本財託 (新宿区)★

👑 1000万円～ 🏠 500万円～ 🌱 300万円～ 🌸 100万円～ ★ 賛助会員

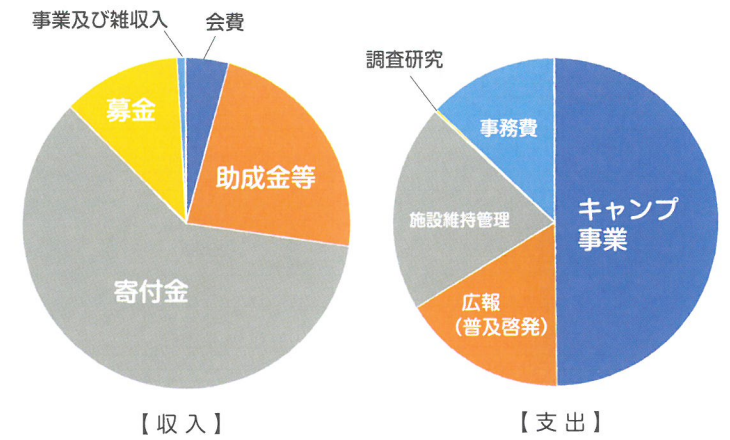
株式会社 かいと (札幌市)★	NPO法人 北海道ファミリーハウス (札幌市)	有限会社 エフェクト (埼玉県)
株式会社 あらた (江東区)★	立教小学校 (豊島区)	税理士法人 エルムパートナーズ (滝川市)
小林製薬 株式会社 (大阪府)★	DCM ホーマック 株式会社 (札幌市)★	マルコ・ソルディ・ラップラセンタンツェ 合同会社 (荒川区)
株式会社 シンモク (恵庭市)★	一丸ファルコス 株式会社 (岐阜県)★	むつみ造園土木株式会社 (秋田県)
北海道コカ・コーラボトリング 株式会社 (札幌市)	滝川市立病院弘友会 (滝川市)	NPO法人 レスパイト・ケアサービス萌 (神奈川県)
ロート製薬 かがも基金 (大阪府)	株式会社 ツール・ド・メディケーション (鹿児島県)	医療法人社団 久保会久保会医院 (滝川市)
公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団 (千代田区)	有限会社 永友商事 (砂川市)	株式会社 菜の花総合保険事務所 (砂川市)
滝川市職員福利厚生会 (滝川市)	マックスバリュ滝川店 (滝川市)	有限会社 星美クリエイト (豊島区)
一般財団法人 東京マラソン財団 (江東区)	東京エレクトロン 株式会社 (札幌市)	美容室花菜里 (滝川市)
MDRT三井住友海上あいおい会 (中央区)	株式会社 キリン堂 (大阪府)	妹背牛ロータリークラブ (妹背牛町)
株式会社 マツオ (滝川市)	株式会社 たまねぎ (大阪府)	堀田鍼灸整骨院 (大阪府)
滝川グリーンライオンズクラブ (滝川市)	株式会社 メディプロデュース (港区)	合同会社 will (札幌市)
クラシエグループ (港区)	江東モラロジー事務所 (江東区)	滝川市立第一小学校 (滝川市)
小樽友の会 (小樽市)	目黒星美学園小学校 (目黒区)	甘菜こひつじこども園 (群馬県)
クリスピー・クリーム・ドーナツ (アメリカ)	一般社団法人 滝川市医師会 (滝川市)	紅茶の時間 in 川越 (埼玉県)
一般社団法人 MDRT日本会 (千代田区)	NPO法人 筑波大学心臓血管外科育成研究会 (茨城県)	有限会社 ウリ薬局滝川店 (滝川市)
西武造園 株式会社 (豊島区)★	イオン滝川店 (滝川市)	有限会社 クリニカ (滝川市)
滝川ロータリークラブ (滝川市)	滝川地区広域消防事務組合親和会 (滝川市)	弁護士法人 のぞみ法律事務所 (栃木県)
株式会社 フジファッション (滝川市)★	北海道滝川高等学校生徒会 (滝川市)	グッディポイント 株式会社 (京都府)
小野薬品工業 株式会社 (大阪府)★	大原薬品工業 株式会社 役員・従業員一同 (滋賀県)	北海道滝川西高等学校 (滝川市)
株式会社 フジテレビジョン (港区)★	網走友の会 (網走市)	(敬称略)
株式会社 大山 (中央区)★	有限会社 コウセイ機工 (滝川市)	
サントリービバレッジサービス 株式会社 (旭川市)	国際ソロプチミスト滝川 (滝川市)	
FNSチャリティキャンペーン事務局 (港区)	有限会社 新田総業 (奈井江町)	
北門信用金庫 クリーングリーンクラブ (滝川市)	株式会社 丸大サクラ中薬局 (青森県)	
江部乙商工会 (そらぶちファーマーズ) (滝川市)	聖路加国際病院礼拝堂 (中央区)	
山崎製パン 株式会社 札幌工場 (恵庭市)	株式会社 ワッツ (株式会社ビクトリア観光のチャリティ) (七飯町)	
株式会社 CtoCグループ (旭川市)	株式会社 つちだ (北見市)	
株式会社 北星 (滝川市)	有限会社 花月堂松尾製菓 (滝川市)	
株式会社 AIRDO (札幌市)	北見友の会 (北見市)	
NEXT'道の会 (石川県)	北海道ペンディング 株式会社 (滝川市)	
しのめ信用金庫 (群馬県)	昭和48年会 (滝川市)	
トヨナガホールディングス 株式会社 (群馬県)	株式会社 モロオ マーケティング本部有志一同 (札幌市)	
株式会社 東京堂 (江東区)★	株式会社 リ・カムアクロス (広島県)	



このほか、多くの企業・団体にご支援いただきました。

会計報告

【収入】	収入合計	160,949,328 円
	会費	294件 6,878,000 円
	助成金等	37,072,938 円
	寄付金	2,105件 96,971,374 円
	募金	18,713,732 円
	事業及び雑収入	1,313,284 円
【支出】	支出合計	160,330,396 円
	キャンプ事業	79,991,145 円
	広報 (普及啓発)	26,366,342 円
	施設維持管理	32,852,743 円
	調査研究	392,655 円
	事務費	20,727,511 円



SeriousFun Children's Network (シリアスファンチルドレンズネットワーク) のフルメンバー (正会員) として加盟しています。

- シリアスファンは、ハリウッド俳優、故・ポールニューマン氏が米国に創設した、難病の子どもと家族のための医療ケア付キャンプの世界的なネットワークであり、そらぶちは、アジア (中東を除く) 初の公認キャンプ場となります。シリアスファンでは、定期的な現地審査と書類審査により、世界基準の安全性とサービスの質の認定を行っており、そらぶちは、2016年11月より正会員として加盟しています。
- シリアスファンとして、アメリカ (米国)、ヨーロッパ、アジア、アフリカなど世界中で、16カ所の公認キャンプ場の運営と多数のキャンププログラムの提供を行っており、これまで50以上の国々から130万人を超える、難病の子どもと家族を無料でキャンプに招待しています。



キャンパーたちと 故・ポールニューマン氏 (中央)

シリアスファン公認キャンプ場・所在地 (16カ所)

- 米国フロリダ
- 米国ニューヨーク
- 米国オハイオ
- 米国コネチカット
- 米国ワシントン
- 米国ミシガン
- 米国カリフォルニア
- 米国コロラド
- 米国ノースカロライナ
- アイルランド
- ハンガリー
- イタリア
- イスラエル
- フランス
- イギリス
- 日本 (そらぶち)



シリアスファンチルドレンズネットワーク

フルメンバー、プロビジョナルメンバー (専用建物を持つキャンプ)

グローバル・パートナーシッププログラム (建物を持たずプログラムを行うキャンプ)